



変化を恐れず、 常に挑戦し続けながら 世界に通じる“人間力”を磨きたい



大学生になったらキミの生活はどう変わるのだろうか？
どのようなことを意識して学問に取り組めばよいのだろうか？
今回は「進研ゼミ」の先輩も多く通う、
東京六大学の1つ、法政大学の様子を見てみよう！

東京六大学 とは

東京六大学野球連盟に加盟する法政大学、早稲田大学、慶應義塾大学、明治大学、立教大学、東京大学の6校を指す。いずれも長い歴史を持つ伝統校で、大学ごとに独自のカラーがあり、受験生からの人気も高い。

変化の激しい時代だからこそ、
未来を見据えて
大学で何を学び
何が体験できるか考えよう

現代社会はグローバル化・多様化がどんどん進んでいる。この変化の著しい時代に対応していくためには、大学入学がゴールではなく、大学へ入学した後をどう過ごしていくか考えることが、自分の未来のためにとっても大切だということに気づいてほしい。

未来を意識して大学生活を過ごした人とそうでなかった人との差は、思った以上につくことになる。未来の自分の姿を見据えて、そのために大学ではどんなことを学び、どんな経験ができるのか。東京六大学の1つ、法政大学の様子を見ながら考えてみよう。



これから未来はどう変わっていくのだろうか？
5年後、10年後の自分の姿をイメージしてみよう。
その時に備えて、大学では何を学んでおけばよいのか、
どんなキャンパスライフを送ればよいのか考えてみよう！
ここでは、未来を見据えて進化を続ける法政大学の様子をのぞいてみよう。

私たちの そのため

未来はこうなる②

多種多様な人と接する
時代になる！

だから大学ではこう学ぶ／

仲間と切磋琢磨し合い
主体的に学ぶ！

ゼミ、サークルに次ぐ「第3のコミュニティ」づくり

●ピア・ネット

法政大学では、学生が学生を支援するピア（仲間）サポート活動が盛んだ。ピア・ネットは、これらの活動の情報共有やスタッフの連携を目的に生まれた組織で、学生が企画から外部との折衝まで主体的に運営を担う。

学生による学生のための学びの場
学習ステーション

富士見坂校舎2Fに開設されている学習ステーションでは、学生スタッフが自分たちで作ったプログラムを中心に、他の学生の「学び」をサポートするピア・サポート活動を行っている。



経営学部3年 稲葉 美貴先輩

意識の高い仲間と最高のものを
作り上げるやりがいを実感
学習ステーションのアシスタントとして参加者の学びのサポートをしています。仲間と切磋琢磨し合いながらプログラムを考え、運営することで責任感や自主性が身につきました。先輩・後輩の存在も大きな刺激となっています。

興味のある学びに 主体的に取り組む

●ゼミ・研究室で 企業と連携

大学の学びは、自分の興味のあるテーマに対して、学生や先生と活発に意見交換し合いながら、学びを深めていくところに魅力がある。さらに、企業と連携して研究に取り組むなど、実社会とのつながりを体験できるのも大学で学ぶ魅力の1つだ。



理工学部
応用情報工学科
品川 満教授

企業との共同研究を通して
自主性と責任感が身につく

日本信号株式会社は、電界通信技術を使ってICカードを用いたタッチ不要の改札を開発している会社です。私の研究室では、基礎研究の面からその開発をサポートしています。学生は共同研究を通して、教科書に書いていない課題をどうやって解決していけばよいのか主体的に考え

る姿勢が身につきました。法政大学の基本精神である「自由と進歩」のどおり、独自のアイデアで自由に、しかも企業との研究ですから責任感を持って取り組んでいます。共同研究を通して社会に出ても十分通用する力が身につくと思います。



〈写真右〉理工学部4年 古谷 恵介先輩
自発的に学ぶ姿勢と
計画性の大切さを学んだ

大学では誰かが教えてくれるのを待つのではなく、自ら行動しなければなりません。共同研究を通して、自発的に研究を行う習慣や早めに行動することの大事さを学びました。

〈写真左〉理工学部4年 和田 裕季先輩
大学での研究は
高校での学びが生かされる

高校での学びは、大学での学びのベースです。大学ではそれがさらに専門的になり、「この技術を生かせばこんなものが実現できる」といった社会とのつながりを学べます。

力が身につけよう。
大学で仲間と切磋琢磨し合
い、自ら積極的に学ぶことで、
未来の変化に対応できる「人間
力」を身につけよう。

グローバル化が進み、未来は
今以上にポスターレスで変化を
伴う時代になる。大学時代に多
くの人と知り合い、様々な世界
を知ることで、多様な価値観や
異文化を理解・受容し、協働で
きる柔軟な姿勢を身につけてお
こう。上に紹介した法政大学の
ような総合大学は、多くの学生
が集まるので多様な価値観に触
れる機会も多くなるといえる。

未来に対応できる
人間力を大学で
身につけよう！

人が足らず、別の職種では人が
要らないということが同時に起
こる可能性がある。そうすると、
これまでとは働き方が変わり、
仕事に対する考え方も変えなけ
ればならなくなるだろう。

大学生になる前に
知っておいて
ほしいこと

東京オリンピック開催後

働き方が変わる？

5年後、10年後って？ に大学で何ができる？

未来はこうなる①

国境なんて関係ない
時代になる！

だから大学ではこう学ぶ／

世界のどこでも通用する
グローバルな視点を育む！

国際社会で活躍するための多彩な取り組み

法政大学では、グローバルな視点を育むためのさまざまなプログラムや制度が用意されている。世界の変化に対して、自由な発想で積極的にチャレンジし、国際的に活躍できる自立型人材の育成をめざしている。

●ERP（英語強化プログラム/English Reinforcement Program）

グローバル社会で活躍するための英語力を養成するプログラムで、市ヶ谷、多摩、小金井のすべてのキャンパスで無料で実施されている。授業は少人数・双方向の形態ですべて英語で行われる。授業の空き時間を利用して受講できるので、実践的な英語力を効率よく身につけることが可能だ。

●Language Buddy（ランゲージ・バディ）

留学生と日本人学生が、空き時間を利用して日本語と外国語を相互に教える制度。互いの語学力アップをめざし、例えば、前半は日本語で会話、後半は留学生の母国語で会話するなど、内容は自由だ。互いをよく知ろうとすることで異文化理解が深まり、グローバルな視点が養成される。

国際文化学部
4年
松浦末和先輩



交換留学生
3年
イギリス出身
Alex Gillさん

語学力に加え、コミュニケー
ションの基本が体得できた
留学経験で培った英語力を維持
したいと考え、ランゲージ・バ
ディに応募。1対1で会話をす
るので、自分の意見をしっかり
伝える意識と相手にも意見を尋
ねる姿勢が身につきました。

日本人学生と留学生を結ぶ
素晴らしい取り組み
ランゲージ・バディは日本人と
留学生がお互いに会って話すの
を勇気づける素晴らしい方法で
す。松浦さんは私に日本語の語
彙や漢字を教えてください、
日本語を話す自信ができました。

スーパーグローバル大学で学ぶ

●世界の課題解決に有効な「サステナブル」を学ぶ

構想名「課題解決先進国日本からサステナブル社会を構想するグローバル大学の創成」

法政大学は、グローバル化を牽引する大学として、文部科学省のスーパーグローバル大学に採択されている。外国語の授業の割合の拡大、英語による学位コースの新設、留学制度の拡充など、様々な取り組みと豊富な国際プログラムでグローバル社会で必要な能力が身につけられる。

サステナブルとは？

「持続可能」という意味。「サステナブルな社会」とは、自分たちの暮らしをよくしていく上で、環境保全などにも気を配り、未来に生きる人たちのことも考慮した、現代と未来がつながっている持続可能な社会のこと。

キミは未来について考えるこ
とはあるだろうか？ 2020
年には東京でオリンピックが開
催される。1964年に開催さ
れたときに比べ、インターネット
の普及やグローバル化が進み、
海外の人との交流が身近なもの
になっている。5年後は東京オ
リンピックの開催を経てさらに
その機会が増えるだろう。国境
なんて関係ないという時代が、
すぐそこまできている。
10年後はどうだろうか？ 国
立社会保障・人口問題研究所
「日本の将来推計人口」による
と、2025年の日本の人口
構成は、17歳以下が13・6%
に対して、60歳以上が36・6%
となり、少子高齢化、超高齢
社会が一層顕著な時代になる
と予測する。それに伴い、労
働においては、ある職種では

グローバル化が進み、
社会の様子が
どんどん変わっていく

社会で
活躍する
卒業生

いろいろな人と交流できる在学中の環境で
積極性と発信する力を身につけたことが今に役立っている

海外留学「スタディ・アブロー

ド(SA)プログラム」が必修であることに魅力を感じて国際文化学部に進学。2年次の秋学期に4か月間、ボストン大学(アメリカ)の語学学校で英語を学び、寮生活を体験しました。

消極的な私は留学当初、英語がうまく話せないため、授業も聞く一方で、全く発言できずにいました。それは寮生活でも同じで、アメリカ人ルームメイトとは、互いの考えが理解できず、関係は最悪なものでした。

しかし、このままではダメだと一念発起、たとえ自信がなくても勇気を出して発言してみると、相手が一生懸命に聞こうとしてくれました。自分が変われば相手の反応も変わる。そう実感してからは積極的に発言するようになり、周りの人たちとの関係がよくなりました。

この留学中の気づきは大きく、自分から情報を発信し、意見を言う姿勢は、社会に出てからも大いに役立っています。

す。先輩から教わるやり方を吸収しながら、常にもっと良い方法はないかと模索しながら仕事をしています。

また、主体性を身につけるという点で、法政大学は最適な環境だと思います。参加型の授業が多く、大人数の授業であってもマイクが回って意見を求められることが珍しくありません。仲間と切磋琢磨し合いながら、意見を言い合うことで、発信力が自然と磨かれます。

トヨタ自動車株式会社
中近東部第2営業室トヨタ企画グループ勤務
近藤 加菜さん
国際文化学部 2015年卒業

留学先のボストン大学のイベントに、Conversation Partner*とその友人と出かけた時の写真。たくさんの友人を紹介してもらい、彼らと会話をするうちに、英語で話すことにだんだん抵抗がなくなってきました。



さらに法政大学には留学生をはじめ、全国からいろいろな興味・関心を持った学生が集まっています。多様な学生と交流することで新たな発見もたくさんあります。いろいろな考えを持った人の中で、先入観や偏見にとらわれず、異なる世界観に触れる大切さを学んだ4年間だったと思います。

*ボストン大学の学生とパートナーを組み、授業以外でも英語で会話を行う制度で、会話を通じて異文化理解を深めることがねらい。

**2016年秋
市ヶ谷キャンパスがさらに快適に！**

法政大学・市ヶ谷キャンパスは、再開発が進行している。現在使用している55・58年館の建替工事を2014年3月より開始。2016年8月に富士見ゲート、2019年1月に南棟(仮称)の2棟が完成する予定だ。2016年度の入学生は、1年次の秋学期から富士見ゲートを利用できることになる。

キャンパスはこう変わる！

- 正門の位置に大きな開口部をもつ富士見ゲート建設
- 現在のキャンパスの南側に「南棟」(仮称)建設
- 2棟各々にエスカレーターを設置
- 春は桜並木が一望できるカフェテリア(食堂)を設置



富士見ゲート：地上6階、地下2階
2014年着工、2016年8月竣工予定



南棟(仮称)：地上8階、地下1階
2016年着工、2019年1月竣工予定

協力



法政大学入学センター

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

Tel:03-3264-9300(直通) <http://nyushi.hosei.ac.jp/>